

学校案内

入院しながら教育が受けられます

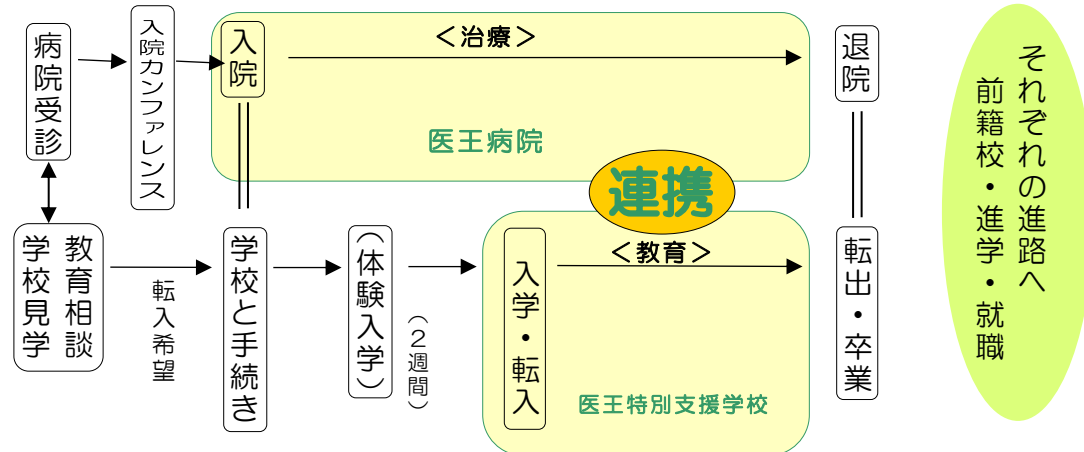


県内で唯一の病弱特別支援学校です

【 入学・転入学の手続き 】

- 本校への転入学は医王病院への入院が前提です。
- 学校見学等の教育相談は、随時実施しております。本校で学習するにあたっての質問もお受けいたしております。
- 本校への入学・転入を希望される場合は、医王病院の小児科で診察を受けていただきます。入院が必要と診断された場合、入院・体験入学（約2週間）・転入手続きという流れになります。体験入学は転入が前提ですが、体験を行ってから転入するかどうか決めることもできます。

【 入学・転入学の流れ 】



【 学校、病院への案内図 】



学校、病院の見学や入学・転入学を希望される方は、いつでもお気軽にご連絡ください。教員をサポートする専門相談員の派遣を要請される場合は、下記学校までご連絡ください。

石川県立医王特別支援学校

〒920-0171 金沢市岩出町木 1 番地
☎ (076) 257-0572

※問い合わせ時間は
月曜から金曜の8時半から16時半です
担当：教頭

独立行政法人国立病院機構医王病院

〒920-0192 金沢市岩出町二 73 番地
☎ (076) 258-1180

※診療時間は
月曜から金曜の8時半から17時です

交通 金沢駅より JR バス「福光」「田の島」「中尾」行乗車(35分)、「塚崎」下車、徒歩5分。
森本駅より徒歩20分、同バスにて5分。

石川県立 医王特別支援学校

〒920-0171 金沢市岩出町木 1 番地

TEL (076) 257-0572

FAX (076) 257-2417

E-mail: iouxxs@ishikawa-c.ed.jp

ホームページ: www.ishikawa-c.ed.jp/~iouxxs/

医王特別支援学校の教育

【本校の概要】

本校は、県内で唯一の病弱特別支援学校です。本校は筋ジストロフィーや脳性麻痺などの病気や慢性疾患（心身症含む）の児童生徒が医王病院（独立行政法人国立病院機構医王病院）に入院しながら学習をしています。医王病院に隣接しており、主治医・カウンセラー・ソーシャルワーカー等と常に連携し、病状回復へ向けて学校生活をサポートすることができます。また、病状が回復した児童生徒は前籍校に戻ることができます。

小松市には、小松市民病院に隣接して小松みどり分校があります。小松みどり分校は、心身症等の児童生徒が小松市民病院に入院や通院しながら学習しています。

【教育の内容】

本校では、学部ごとに、それぞれ児童生徒に応じた教育を行っています。

小学部と**中学部**は、学習指導要領に準じた**授業**を行っています。特別活動、総合的な学習や行事を小中高合同で行うこともあります。一人一人の病気や学習空白の状態に応じた学習指導を行っているため、病気が改善されれば**前籍校へ復帰**できます。また、本校中学部を卒業して地域の**高等学校に進学**する生徒もいます。

高等部は**全日制普通科**で AB 組は受験資格を得られます。病気治療のため入院し本校に転入した生徒は、病気が改善されれば前籍の高校へ復帰できるよう**単位の相談**にも応じています。また、卒業後に本人が希望する進路を実現できるよう、一人一人に応じた指導を行っています。

病棟訪問教育は、障害の重い児童生徒が対象です。教師が毎日、病棟に出向いてベッドサイドで学習を行っています。

病院訪問教育は、金沢医科大学病院等に入院している小学生及び中学生が対象です。本校から教師を派遣し、ベッドサイドで学習（週6時限）を行っています。

【本校の授業の様子】 ～一人一人のニーズに応じた教育活動を行っています～

小学部



< 図画工作の授業 >

中学部



< 社会の授業 >

高等部



< 英語の授業 >

病棟訪問教育



< ベッドサイド学習 >

【児童生徒の主な病名等】

本校に在籍する児童生徒の主な病名は、筋ジストロフィー、脳性麻痺、摂食障害や不安障害などの心身症（背景に発達障害がある場合も有り）等です。いわゆる「心の病気」から長期欠席し、入院治療を行っている児童生徒も受け入れています。

【病気や障害に応じた教育】

本校では、下記のように、病気や障害に応じた教育を行っています。

| | | | |
|---|--|---|---|
| A組 筋疾患（筋ジストロフィー）の児童生徒に対して、障害に配慮するとともに、小・中・高等学校と同じ教育を行っています。 | B組 慢性疾患（心身症含む）の児童生徒に対して、小・中・高等学校と同じ教育を行い、長期欠席による学習空白などを補っています。 | C組 重複障害（病弱・知的障害）の児童生徒に対して、障害や発達段階などに応じて教育を行っています。 | 病棟訪問教育 重度重複障害の児童生徒に対して、個々の障害に応じて健康の保持（生活リズムや生活習慣の形成）等を中心に教育を行っています。 |
|---|--|---|---|

子どもからのサインへの気づきが必要です

学校生活や家庭生活において、下記のような状態が多く見られる場合は、子どもからの不安のサイン（SOS）の表れです。早期からの適切な対応が必要です。

| | | | |
|--|---|--|---|
| 【生活】 ・朝おきられなくなる ・食欲がなくなる ・寝付きが悪くなる ・生活習慣が乱れる ・部活動に行かなくなる 等 | 【健康】 ・保健室をよく利用するようになる ・身体症状（頭痛、腹痛、嘔吐や下痢、関節痛等）を訴えるようになる 等 | 【対人関係】 ・休み時間にひとりでいる ・友だちと遊ばなくなる ・親と話をしなくなる ・ひとりで登校したり帰宅したりするようになる 等 | 【学習】 ・宿題などをしなくなる ・忘れ物が増える ・登校準備をしなくなる ・ノートをとらなくなったり、字が乱れたりしてくる 等 |
|--|---|--|---|

早期の医療・教育相談が大切です

（「心の病気」が理由で長期欠席している児童生徒への教育）

原因の一つに LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能の自閉症が原因で二次障害をおこし、対人関係の不調などから長期欠席の状態になる場合があります。また、解離性障害、双極性障害、摂食障害などと診断されるケースもあります。いずれにせよ、**早期に専門の相談機関・医療機関に相談し、適切な教育を受けることが大切です。**

学校に通えていない（長期欠席の状態）

— 病気の子どもたちにも学校教育が必要です —

